

平成23年度豊山町地域公共交通会議議事録(要旨)

1 開催日時 平成24年2月8日(火) 午前10時15分～午前11時20分

2 開催場所 豊山町役場2階 会議室1・2

3 出席者

(1) 豊山町地域公共交通会議委員

委員 豊山町長	鈴木 幸 育
あおい交通(株)代表取締役	松 浦 秀 則
名鉄バス(株)運輸部運輸課長	加 藤 直 樹
名古屋市総務局企画部企画課主査	池村尚哉(代理)
社団法人愛知県バス協会専務理事	伊藤秀雄(代理)
豊山町老人クラブ連合会元地区委員	伊 藤 千 歳
中部運輸局愛知運輸支局主席運輸企画専門官	西 尾 和 晴
西枇杷島警察署交通規制係警部補	太 田 英 一
あおい交通(株)運行課長	工 藤 彰 郎
尾張建設事務所維持管理課長	渡 辺 博 喜
愛知県地域振興部交通対策課	森島哲也(代理)
名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻准教授	加 藤 博 和
豊山町総務部長	長 縄 松 仁

(2) 欠席者

豊山町心身障害者福祉協会役員	河 村 君 枝
名古屋タクシー協会専務理事	永 山 明 光

(3) 事務局

豊山町総務部理事	加 藤 千 春
豊山町総務部総務課長	安 藤 光 男
豊山町総務部総務課長補佐	小 川 徹 也
豊山町総務部総務課企画財政・情報係長	高 橋 公 仁
豊山町総務部総務課企画財政・情報係主任	水 野 将 徳

#### 4 議題

##### 報告事項

- (1) 本町の地域公共交通の近況について (資料1)

##### 協議事項

- (1) 地域公共交通総合連携計画策定の報告と決算 (案) について (資料2)
- (2) 地域公共交通総合連携計画の進捗状況と今後の取組について (資料3)
- (3) 今年度における本町の地域公共交通の課題・要望とその対応策 (案) について (資料4～8)

#### 5 配布資料

- (1) 本町の地域公共交通の近況について (資料1)
- (2) 地域公共交通総合連携計画策定のための決算書 (案) (資料2)
- (3) 地域公共交通総合連携計画の進捗状況と今後の取組について (案) (資料3)
- (4) 公共交通の課題・要望とその対応策について (案) (資料4)
  - ・課題・要望① 名古屋空港直行バスの「空港口」バス停の移動について (資料5)
  - ・課題・要望② 名古屋空港直行バスの「幸田」バス停の移動について (資料6)
  - ・課題・要望③ とよやまタウンバスの県道の新設に伴う路線の変更について (資料7)
  - ・課題・要望④ とよやまタウンバス南ルート of 運賃の改正について (資料8)
- (5) 豊山町地域公共交通総合連携計画
- (6) 豊山町公共交通マップ
- (7) 西枇杷島警察署管内の交通事故発生状況

#### 6 議事内容

##### ①あいさつ

- ・総務課長より開会のあいさつ
- ・町長 (会長) よりあいさつ

- 【 会 長 】 本町にとって、バス事業には2つの大きな目的がある。ひとつめは、生活交通の維持である。高齢化が進む中、誰でも気軽に使える公共交通は、地域の人々の日常生活を支える、大切なインフラである。とよやまタウンバスはもちろん、民間事業者の皆さまによるバス路線も含めて、本町の公共交通全体の利便性の向上を、継続的に図らなければならない。
- ふたつめは、町外の方の、本町へのアクセスである。県営名古屋空港と、空港を中心とした航空宇宙産業の集積が進みつつあり、一時期は

撤退が心配されていた県営名古屋空港の民間航空路線も、増える傾向にある。今後ますます、本町にお越しいただける方が増えると思われる。このように、生活交通の充実のためにも、地域振興のためにも、本地域におけるバスの重要性と、利用者の皆さまのご期待が、高まっている。そのような声にお応えするためには、公共交通をはじめとした専門家の皆さまや、実際にバスを利用されている方々の、忌憚のないご意見が何よりも必要である。

## ②委嘱状伝達

- ・人事異動等で新しく委員になられた方の席に、委嘱状を置いたので、確認してほしい。
- ・配布資料の確認
- ・会議を原則として公開することの確認

## ③議 事

- 【 会 長 】 3の報告事項の(1)本町の公共交通の近況について、事務局より説明を求める。
- 【 事 務 局 】 (資料1に基づき説明)
- 【 会 長 】 ただいまの報告について、ご意見やご質問はないか。
- 【 各 委 員 】 (とくになし)
- 【 会 長 】 それではないので、次の事項に移る。4の協議事項(1)地域公共交通総合連携計画策定の報告と決算(案)について、事務局より説明を求める。
- 【 事 務 局 】 (資料2に基づき説明)
- 【 会 長 】 ただいまの説明について、ご意見やご質問はないか。
- 【 各 委 員 】 (とくになし)
- 【 会 長 】 それでは、協議事項(1)地域公共交通総合連携計画策定の報告と決算(案)について、原案のとおりご承認いただけるか。
- 【 各 委 員 】 (「異議なし」の声)
- 【 会 長 】 協議事項(1)地域公共交通総合連携計画策定の報告と決算(案)について、委員の皆様より、原案のとおりご承認いただいた。次に協議事項(2)地域公共交通総合連携計画の進捗状況と今後の取組について、事務局より説明を求める。
- 【 事 務 局 】 (資料3に基づき説明)
- 【 会 長 】 ただいまの説明について、ご意見やご質問はないか。
- 【 A 委 員 】 北ルートの路線やダイヤの見直しの中で、エアポートウォーク名古屋や小牧駅に乗り入れるという案があった。名鉄バスも小牧駅に乗り入れしている。また、西春駅と空港を結んでいる西春・空港線は現時点でも運行状況がよくなく、利用者の減少が懸念される。路線の設定についてはご配慮いただきたい。また、公共交通マップについて、現行版では「バスカード」と掲載してあるが、これは今年の2月をもって「マナカ」へと切り替わっている。改正するときには、

こちらでも確認したいので、連絡していただきたい。

【事務局】 小牧駅の乗り入れについては、実際に行なうにあたっては、小牧市との調整も必要になってくる。路線の設置においては、ご指摘のとおり、既存のバス路線との協調が大切であると認識している。検討にあたっては、ご意見を賜ることになるのでよろしくお願ひしたい。公共交通マップについては、毎回、確認していただいているはずである。今後は時刻表だけではなく、その他のサービスについてもご確認いただくよう、緊密に連絡をとりたい。

【B委員】 北ルートでのデマンド運行やタクシー・福祉サービスとの連携に関連してお聞きしたい。豊山町にタクシー会社やタクシーが常駐している場所はあるか。また、福祉サービスとの連携とあるが、具体的にどのようなサービスがあるのか、それらとの調整はどのようにするのかをうかがいたい。

【事務局】 本町にはタクシー会社はない。常駐している場所としては、県営名古屋空港がある。また、最近では大型商業施設であるエアポートウォーク名古屋でもタクシーを拾えると聞いている。福祉サービスについては、福祉課におけるタクシーの利用補助や、社会福祉協議会における会員制による輸送サービスがある。北ルートの新サービスはそのようなサービスを受けている方も受益者として想定しているので、実施にあたっては現在、福祉関係にある輸送サービスとの調整を行なう必要がある。

また、実際に導入するにしても、高額な費用にも関わらず、利用者が少ないという事態にならないように、財政的な見地からも、精査する必要がある。また、サービスがいろいろありすぎると、お年寄りの方にはわかりにくいということもあるかもしれない。そのような事柄に配慮しながら、進めなくてはならないと考えている。

【C委員】 タクシーを取扱っている会社として発言したい。豊山町にはタクシー会社はない。空港に関しては、名古屋空港タクシー協議会が運営している。エアポートウォーク名古屋は3社で行なっている。次に、北ルートの小牧駅の乗り入れについてだが、かつては小牧市役所近くのアピタへ行かれる方もあったが、エアポートウォーク名古屋が開店してからは行く必要がなくなった。また、小牧市民から、県営名古屋空港へ行きたいという要望を聞いている。これらの2点において、乗り入れは有効であると考えている。

【D委員】 いくつか質問等をお願いしたい。まず、先ほど北ルートのエアポートウォーク名古屋等への乗り入れについて、名鉄バスからご意見があったが、OD調査の結果を見ると、競合の対象となる人数は非常に少ないと思われる。この点について、どのようにお考えになっているのかをお聞きしたい。

次に、あおい交通の新しい路線、幸田・勝川線の利用状況について詳細をお聞きしたい。

- 【 C 委員 】 幸田・勝川線については、設置当初よりも利用者が増加している。正確なデータについては提出していないが、次回の会議にはきちんと出したいと思う。
- 【 D 委員 】 従来のダイヤでは、名古屋空港から勝川へ行くのはよいが、勝川から名古屋空港への接続がよくなかったが、路線を2つに分けたことによって、その点が改善されたと思われる。  
この路線については、とよやまタウンバスの南ルートと同じように、愛知県の地域間幹線系統確保維持計画に認定され、支援を受けることになった。利用状況などはきちんと把握、分析しておく必要がある。  
北ルートについては、朝は満員で、積み残しも発生していたが、午後になると少なくなるという傾向があった。小牧駅における名鉄バスとの競合については、工夫する余地があると思う。
- 【 A 委員 】 名鉄バスの車両は、中型もしくは大型のバスであるため、走れる道路が限定されている。北ルートのバスは小型であるため、よりきめ細かい路線をとることができる。その特性を活かした路線にさせていただき、現在の路線と競合しないような住み分けもできると思う。  
1人であっても、乗っていただけるか、乗っていただけないかというのはバス会社にとっては重要である。路線だけではなく、ダイヤについても、ご考慮いただきたい。お互いに上手に住み分けをすることで、よりよいネットワークができると思う。
- 【 事務局 】 北ルートの発足当初は積み残しが発生したが、最近は減ってきている。今年度は1件も発生していない。平日の午後や休日についての利用はとくに少ないというのが現状である。  
その一方で、エアポートウォーク名古屋が開店したり、三菱重工業への来訪者が増えたり、小牧市方面から豊山町へのアクセスについても話題になっている。小牧市を含めた関係者とよく調整しながら、北ルートの車両の機動力を活かした路線づくりをしたいと思う。
- 【 D 委員 】 特定のバス停間の乗り降り等を制限することによって、競合路線において、乗客を獲り合うことを回避できる。とよやまタウンバスの場合は、あくまでも豊山町の人たちの利便性を重視するものである。
- 【 事務局 】 本町の目的は、とよやまタウンバスの利用者増ではなく、あくまでも、豊山町全体の公共交通の利便性を向上させたいという考えである。北ルートの改善についてもその一環であると位置づけているので、ご理解とご協力をお願いしたい。
- 【 会長 】 その他に委員の皆さんのご意見はないか。
- 【 E 委員 】 西枇杷島警察署管内の交通事故発生状況について、資料をお配りした。交通事故が増える傾向があるので、ご注意いただきたい。
- 【 会長 】 その他に委員の皆さんのご意見は？

- 【各委員】 (とくになし)
- 【司会】 協議事項(2) 地域公共交通総合連携計画の進捗状況と今後の取組について、事務局案でご承認いただけるか。
- 【各委員】 (「異議なし」の声)
- 【会長】 協議事項(2) 地域公共交通総合連携計画の進捗状況と今後の取組について、委員の皆さまよりご承認いただいた。  
次に、協議事項(3) 今年度における本町の地域公共交通の課題・要望とその対応策(案)について、事務局より説明を求める。
- 【事務局】 (資料4～8に基づき説明)
- 【会長】 ただいまの説明について、ご意見やご質問はないか。
- 【F委員】 とよやまタウンバスのルート改正はいつからを予定しているか。
- 【事務局】 平成24年4月1日という方向であおい交通と調整している。
- 【G委員】 バス停の移動について、道路管理者との調整は行われているか。
- 【事務局】 あおい交通と連絡をとりあって、早急に進めたい。
- 【G委員】 4月1日に移動ということで、本日承ったので、手続きをよろしくお願ひしたい。
- 【B委員】 公安関係の調整状況はどうか。
- 【H委員】 運輸支局には、バス停の運行に差し支えないということで、報告する予定である。
- 【B委員】 バス停の設置があるので、交通安全の確保について、事前にきちんと行なってから、申請を進めてほしい。  
資料7において、現在走っている路線については、バスが運行しなくなるということか。
- 【事務局】 お見込みのとおり。
- 【B委員】 それでは、今回の会議において、路線を廃止するということ、あわせて決定していただくとよい。
- 【会長】 路線の廃止を含めて、協議事項(3) 今年度における本町の地域公共交通の課題・要望とその対応策(案)について、事務局案でご承認いただけるか。
- 【各委員】 (「異議なし」の声)
- 【会長】 次に、協議事項(3) 今年度における本町の地域公共交通の課題・要望とその対応策(案)について、委員の皆さまよりご承認いただいた。ご指摘いただいた部分については、適切に取組みたい。
- 【D委員】 バス停が移動するわけであるから、現在のバス停のある自治会など、関係者への確認が必要である。また、道路管理者や警察への届出も確実にやるべきである。豊山町商工会のバス停は、ご存知のように現在はバスが停車しにくいいため、新しい場所に移設することはよいことだと思う。滞りなく、進めてほしい。  
また、今までであると、豊山町商工会から、まっすぐに豊山町役場に行っていたわけだが、新しい路線では、一度、社会教育センターの方面へ回ってから役場に行くので、やや不合理な感じがする。社

会教育センターの南側にも、タウンバスのバス停を置くことが可能かどうかを考えてもよいと思う。

【 C 委員 】 名古屋空港直行バスについて、せっかくとよやまタウンバスのバス停が新しい県道に設置されるなら、あわせて、バス停を設置したいと考えている。

【 F 委員 】 事務的な話になるが、国庫補助金を受けている路線は、路線が変更して距離が変わったり、バス停の数が増えたりすると、積算の式が変わり、補助金の金額にも影響することがある。また、変更をする場合、地域公共交通会議だけではなく、県のバス協議会で合意をとる必要がある。協議会は2月と6月、8月の年に3回が開かれる。今後も変更を行なう場合は、開催の時期について参考にしてほしい。

【 会長 】 スムーズな事務に努めさせていただく。

【 I 委員 】 名古屋空港南口近くのわかばファミリー・クリニックの近くにバス停を置いてほしいという要望があった。

【 会長 】 手続きの問題もあるので、可能かどうかも含めて、検討をしていきたい。

また、バス停の設置に関する手続きを始め、いろいろな意見をいただいたので、よく参考にして進めていきたい。

その他について、委員の皆さまから何かないか。

【 各委員 】 (とくになし)

【 会長 】 事務局からはないか。

【 事務局 】 ありません。

【 会長 】 以上で平成23年度の豊山町地域公共交通会議を終了する。委員の皆さまのご協力に感謝する。